

令和4年度 稲沢市地域自立支援協議会 第2回本会議 議事要旨

[日 時] 令和5年2月21日(火) 午後2時～午後3時30分

[場 所] 稲沢市役所 東庁舎 1階 会議室8

[出席者] 本会議委員9人、事務局6人、その他1人

[欠席者] なし

[議 事]

1 議事

(1) 運営会議等の実施状況について

資料1及び別紙により、事務局から説明

委員 A 前にも話をしたが、個別支援会議について報告していただくが、課題で終わる。聞きたいのは課題を実践していくにあたり、何か具体的な動きとか、課題で終わることはないと思うが、その後に例えば関係機関にどういう働きかけをしたか、当事者、保護者含めてどういった話を本人にしたか、またその動きがどういった形で結果をもたらしているのか、次の段階まで聞きたいといつも思う。今日の報告を聞くと課題で終わっているかのような感じがする。消化不良なので、具体的に主なものでいいのでお話していただきたい。

事務局 今年度の事例から見える課題ということでは別紙2の右に事務局と運営会議を経て決まった課題を記載している。この課題についてどういったことができるのかは、令和5年度に向けてそれぞれ地域生活支援部会などで、どんなところに問題があるのか、何をしていけば解決するのかを検討していただきたいと思っている。これまでも前年度で言えば、性に関する問題が多く出ていた報告もしているが、そこから今年度、権利擁護推進部会では性教育に詳しい講師に来ていただき、研修会を行った。研修会などは課題に応じて取り組んでいけるので支援者のスキルアップを目的に行っていく予定。どこまでレベルが上がるということは難しい面はあるが、課題として報告したことに対してこういうことを行ったという報告も、これから伝わるようにしていきたいと思う。

委員 A 事例の中で地域課題を示してくださっているが、不登校の事例で学校との連携や保護者との関わりが課題だとすると、そのためにどこにどういった方向で、学校のどこに問題があるのか、細かいところまで把握して動いているのかな、とすごく聞きたい。いろんな意味で不登校を起ささない、減らすために、教育機関に何か問題があるのか、当事者に何か問題があるのか、なぜ問題が起きるのかということをお話し合っているなら報告をしていただきたいと思う。

委員 B 個別支援会議であるということは稲沢市ですぐに解決しない課題であるということ。その場で解決できることとできなかったことがある。解決できないということは、解決できない地域の課題。この課題に対してどうしていくかは専門部会で

ちんと解決策と考えてくださいというのが協議会の流れ。こどもの問題については、来年度はこども部会が新たにできる予定とのことなので、この問題をこども部会で施策に反映しましょうという流れ。この課題は、いろいろもまれて来年度報告されるという流れだと思う。

運営会議から参加している感想だが、先日、日中サービス支援型のグループホームの運営評価会議があった。その中で話を聞いていて、この問題は日中サービス支援型の問題ではないと改めて思ったことがある。それはたまたま新しく参入するのが日中サービス支援型だったが、まったく障害の支援をしたことがない人達。経験者がいない中で参入している企業の問題。彼らは同じ人間だから同じでしょうというが、障害特性がわからないまま、合理的配慮ができないまま参入して365日を支える。本人たちも自覚がないまま権利侵害をすることは、県内でも起きていて問題が取り上げられている。日中サービス支援型だけではなく慎重にきちんと目を光らせていくことは必要だと改めて思った。グループホーム全体、他のサービスもそうかもしれないが、まったく経験がない人が参入することがあることを認識したほうが良い。

個別支援会議は丁寧にやっていただき、いろいろな課題があるということ部会に反映していただく流れができています。きちんと事務局で考えられていると思っている。これで来年度スタートする。こども部会というのは医ケア児や児童発達支援センターの問題があったが、今、稲沢市で、わざわざ、こども部会という名称にするのは、障害の有無にかかわらず、こどもたちが同じように育つ権利があり発達支援を受けていくことを、どう保障するか。どこの地域でも分け隔てなく発達する権利を保障するために、どんな体制が必要かを考えるのが部会の主たる目的じゃないかと思う。児童発達支援センターの在り方もそうだが、少し長い目で見ると、昨年度の障害者権利条約の中で、日本の審査があった中で、こどもたちを分けて育てるのは差別でありダメという勧告を受けている。今後、障害福祉という中でこどもを障害で分けるということから改善する方向に動く。インクルーシブという状態にしていくにはどうするかということを考えていくことにきつとなる。その辺も含めてやってほしい。個別支援会議の最後の事例は行動障害。まさしく、こどものときから行動障害に発展しないように発達を保証するためにどうするか。そのために家族に力がない場合は家族も丸ごと支えていくことを柔軟に考えていくということ。そういっても行動障害に発展してしまうことがあるなら、行動障害になった状態のところから受け止める事業所の力も必要。ここは行政も協働して相当力を入れないと、国で強度行動障害の研修が始まったが、ここを受け止めてくれる事業所がないということなので、2次障害として発展してしまった人をどうサポートするかについてもどこかで考えてほしい。部会ということではなくすべてのところで横断的に考えるところかもしれない。この問題はどこの地域でも話題にな

っていることなので連絡会でもいいので全体的に取り上げて後押しする施策も考えていただけたらと思う。

事務局 行動障害の方への支援については、明日の午後、研修会で事例検討会を予定している。事業所の方に集まっただき、あいち発達障害者支援センターの方を講師に行っていく。初めてのこと。こういった機会は来年度も重ねていきたいと思っている。

(2) 分野別部会の実施状況について

資料2により、各部会長から説明

【地域生活支援部会】

委員 B 医療的ケア児支援は、1つの事例から始まってそれを地域課題にしているという見事な展開をしているのでこの内容で続けていただきたい。フロー図は、すべての医療的ケアのお子さんとお会いする覚悟をしたということ。出会わせてくださいという宣言だと思う。

拠点については、稲沢に住んでいる人に何か起きてもしっかり暮らせるということ。今事業所につながっている人は、事業所は全部つながっているので、全事業所が拠点に登録することができてようやく全ての事業所を使っている人たちの安心につながる。さらには事業所につながっていない人たちの安心安全を考えることが次の課題。まず事業所がつながることがワンステップだと思う。稲沢市にはこどもの体験ができる場所がある。すごくいいのは単なる短期入所でないこと。こどもは短期入所を利用して親御さんの安心にならない。親元を離れて安心してすごすことができるわけではない。よく知った場所で慣れた知った人がいてそこに楽しいイベントがあるのは、他にはないが、稲沢市にはそういう事業所がある。そこにノウハウがある。緊急時にも体験したととこでやれる。その広がりができることをしていただきたい。サポートブックについてはこの量を見ると、書こうと思えない。一つの提案だが、親が書くのではなく、内容は障害児相談支援事業所がアセスメントとして使えばそのまま埋まる。そういう工夫がないと多分動かない気がする。そんな風に考えていくといいと思う。

【就労支援部会】

会長 今年も企業に出向いて障害者雇用について説明した中で感じたのは、3kで難しいよ、といった頭から思い込みも感じられたのと、障害の悪い面というか、それが目立って、こういう子がコツコツやれるよとか、記憶力がいいよとか、そういう負じゃない、こんないいものを持っているというアピールができれば企業も考えが変わるかなと感じた。

部会長 障害特性を知るのには一朝一夕にはできないのでそのあたりは特別支援学校の先生などがよくご存じだと思う。個人の思いとしては特別支援学校でも分けて教育す

るのがいいのかという思いもあり、どうなんだろうと思う。本当に障害があるとかないとかではなく、その人の特性だと思えば、特性を見いだせたときの喜びはすごくあると思う。それをもっと一般のかたにどう知ってもらえたらいいかなと私自身すごく思っている。

(2) 事業所連絡会の実施状況について

資料3により、事務局から説明
意見なし

(4) 稲沢市障害者計画等について

資料4-1、資料4-2、資料4-3により、事務局から説明

委員C 回収率について前回と比べてどうか。ウェブ回収についてどうか。

事務局 前は郵送のみだったがその時に比べるとウェブ回答ができるようになった分利便性が上がったが、質問が多いということがあった。最初は5割を目標にしていたが、そちらには届かなかったが、前回よりは増えている。

委員C サービス事業所の回答率の7割が多いのかどうなのかは思う。

委員B 本来、来年度作成する自治体が多い中で今年度ここまでできているのは全国で一番早いと思う。中身はまた確認させていただくが、ざっと気になったところで、3ページは災害時の災の字が抜けている。21ページの「親亡き後」は、漢字よりひらがなにして「親なき後」とした方が良い。骨子案についても漢字が使われているがひらがなにしていただければと思う。重要度と満足度のグラフについては興味深い。活用できたらと思う。

6が抜けているといわれたのはスモールステップが抜けているのか。貴重な意見があったと思うので、追加していただければと思う。